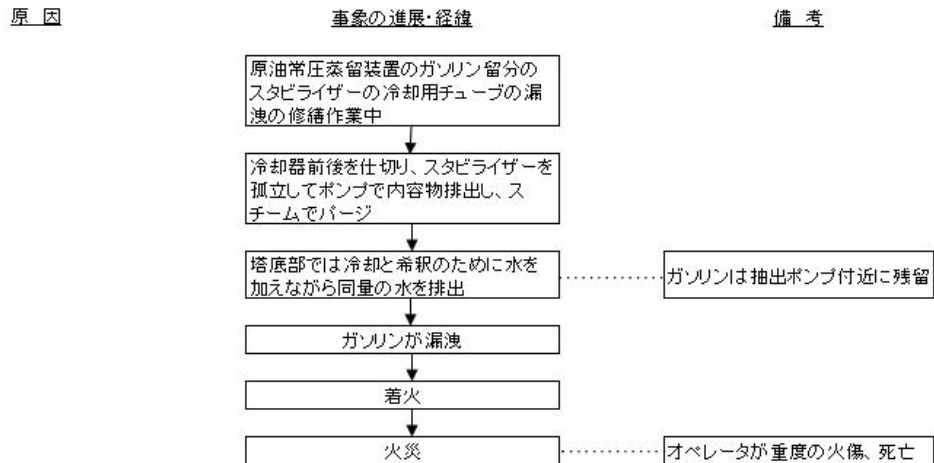




ガソリン安定化塔の修繕作業中、抽出ポンプ排出中のガソリン発火

事象進展図

| | |
|-------|---|
| 00347 | ガソリン安定化塔の修繕作業中、抽出ポンプ排出中のガソリン発火 |
| 発災年月日 | 1994年11月7日 |
| 装置 | 原油常圧蒸留装置 |
| 運転状況 | トラブル発生時の運転対応中 |
| 特徴 | スタビライザーの修繕作業中、抽出ポンプ付近に残留したガソリンが漏洩、着火、火災 |



| 再発防止策 |
|--|
| 記述無 |
| 安全専門家コメント |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリンが発火した原因はまだ不明であるが、可能性としては、冷却がまだ不足で温度が高かったことや硫化鉄などの存在が考えられるし、内容物排出やスチームバージも十分であったか疑問が残る。いずれにしても、操作内容がガソリンの危険性に対して十分配慮した操作になっていない可能性が考えられ、それが発火の大きな原因と考えられる。 ・ガソリンなどを排出する場合は専用のクローズドシステムで回収される安全システムを構築しておかねばならない。容易に外部には漏洩・拡散されないような状態を確保することが重要である。 ・この事故は運転中の機器の補修作業時に発生したものである。運転中メンテナンスにおいては、仮設で使用する資機材の健全性の確認、作業手順や連絡方法の徹底が事故予防にあたっては基本であり、また重要であるといえよう。 |

| 引き金事象発生の原因 |
|-------------------|
| 何らかの原因でガソリンが外部へ漏洩 |

| 事故の引き金事象 |
|----------|
| ガソリンへの着火 |

| 事故に関係した直接・間接要因 |
|-----------------------------|
| 《情報要因》 ・物質特性・危険性の評価・検討不足 |



ガソリン安定化塔の修繕作業中、抽出ポンプ排出中のガソリン発火

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

MARS Database

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 蒸留塔塔底系 > 落油系
- 🔑 精留塔 > フラクショネーター
- 🔑 シェル&チューブ熱交
- 🔑 常圧蒸留塔 > CDU, トッパー, トッピング, 蒸留塔, PS
- 🔑 常圧蒸留装置 > CDU, ADU, HS, APS, PS
- 🔑 熱交換器 > 熱交
- 🔑 塔 > タワー
- 🔑 ガソリン > 揮発油
- 🔑 整合塔 > スタビライザー

▶ 関連情報